

令和5年4月

保護者の皆様

錦岡保育園

園長 山口 康 男

## 令和4年度錦岡保育園の自己評価について

新年度がスタートして新しく入園した子どもたちも加わり、保育園は子どもたちの元気な声でいっぱいです。

さて、保育の質の向上を目指して保育園の自己評価を実施しておりますが、卒園児の保護者と保育士による令和4年度の評価をとりまとめましたので結果をお知らせいたします。

評価の項目と内容は、保護者からはⅠ「**保育園の運営や保育計画について**」、Ⅱ「**保育活動の取組について**」、Ⅲ「**保護者との対応や支援について**」、Ⅳ「**保育環境や保育を支える取組について**」の4分野について、5段階で評価していただき、Ⅴ「**質問項目に関する意見や要望を含め、保育園に対する率直な意見や感想を自由にお書き願います**」で記載していただきました。

また、各職員は、Ⅰ「**保育園の理念・保育目標の計画実施について**」、Ⅱ「**発達理解と保育内容の取組について**」、Ⅲ「**健康・安全への危機管理について**」、Ⅳ「**子ども・保護者の人権擁護・支援について**」、Ⅴ「**職員間の連携交流と資質向上について**」、Ⅵ「**苦情解決について**」、Ⅶ「**要保護支援について**」の7分野について、3段階で自己評価するとともに、1年間を振り返って日常業務や保育会議等の状況を合わせ、各分野を総合的に評価しました。

この評価を踏まえて達成度が低い項目の向上に努め、皆様のご期待と信頼に応えられるように職員一同、精一杯努力いたしますので、今後も率直なご意見やご要望をお聞かせくださいますようお願いいたします。

### Ⅰ「**保育園の運営や保育計画について**」

- (1) **園の運営の理念や方針の認識**については、コロナ禍の中で園内研修は一部について計画通り開催できませんでしたが、例年より保育士間のコミュニケーションをより図るとともに、保護者からの評価も概ね肯定的になっています。 <B>
- (2) **保育計画の理解度**については、策定段階の検討や担当者同士の打ち合わせ等により相互理解に努めており、概ね実践に生かされています。 <A>

- (3) **情報発信**については、ホームページや園だより・栄養・保健・クラスだよりなど読みやすさに心がけ、積極的な情報発信に取り組むことが出来ました。 <A>

## II 「保育活動の取組について」

- (1) **日常の保育活動**については、本園が重点としているリズム活動や散歩などの実践には努力の成果が認められ、肯定的な意見が多く寄せられました。 <A>
- (2) 特に重視している**裸足保育、ドロ遊び、リズム活動**については、細かい配慮を忘れずに、条件整備から実践まで一貫して取り組みました。 <A>
- (3) 子どもたちの**基本的な生活習慣や健康と安全管理**については、新型コロナウイルス感染症の感染防止には万全を期すとともに、職員間で連携をとりほぼ実施できました。事故件数も減り保護者からは高い評価を得ました。 <A>
- (4) **保育活動のレベル向上**については、毎月の保育会議や保育反省を通じて、情報の共有化や方向性の確認を行い、子どもの発達を促す保育に努めました。 <B>

## III 「保護者との対応や支援について」

- (1) **保護者とのコミュニケーション**については、交代変則勤務の中でもきめ細やかな連携を図りながら対応していますが、苦情も寄せられました。 <B>
- (2) **保護者懇談会**については、コロナ禍の中で予定した全てのクラス懇談会は開催できませんでしたが、個人懇談で保護者との意志疎通をしっかりと図るよう努め、子どもたちの様子や成長について貴重な意見交換ができました。 <B>
- (3) **家庭との連絡**に対するご意見があり、保護者の多種多様な相談・要望に対する保育士の丁寧な説明や対応などが必要となってきました。 <B>
- (4) **意見箱や第三者機関**の周知を図っていますが、その存在を認識していない保護者もいることが分かり、より一層の周知に努めていきます。 <B>

## IV 「保育環境や保育を支える取組について」

- (1) **事故防止や保健衛生対策**については、事故防止のため遊具等の安全確保に努めるとともに、特に今年度はコロナウイルスに加え、インフルエンザの感染防止に向けた対応を保護者のご協力も得ながら保育園全体で取り組みました。 <A>
- (2) **保育士の資質向上**については、年齢や経験年数に開きがあり、力量にもバラツキがあるため研修が必要ですが、コロナ禍で市外のため開催される園外研修の多く

がZOOMに変更になり、前年度より参加する機会が増えました。＜B＞

- (3) **職員集団としての結束力**は、事務分掌を明確にするとともに、担当以外のことについても補完し合うなど、組織として機能するよう取り組みました。＜A＞
- (4) **親の会との連携や保護者との協力関係**では、親の会役員との連携や園行事への協力など、保護者に理解と協力をお願いし充実した活動ができました。＜A＞

## ≪総括的な評価と課題の改善に向けて≫

- ① 知識や経験年数が異なる職員が勤務しているため、日頃から情報の共有化と声掛けを徹底して、意志の疎通を充分図るよう取り組んでいますが、さらに職員相互の円滑なコミュニケーションに努めます。
- ② 組織で仕事をするという意識は浸透してきていると考えておりますが、これまで以上に担当の仕事を超えた園全体の業務に対する関心と理解を深めて、スムーズな協力体制がとれるよう取り組みます。
- ③ 園の運営理念や方針に関しては、徐々に理解が深まってきていますが、今後とも職員会議や園内研修等の機会に理事長や園長から説明し、日頃の保育活動に結びつけることができるよう努力します。
- ④ 保護者に向けては、主要行事後のアンケート集計結果と質問や要望に対する園からの説明を詳しくお知らせするほか、各クラスだよりとブログは年3回以上とし、必要に応じて発行するよう努めます。
- ⑤ 保育士の資質向上の取組では、職場内研修の企画を交代で担当したり、今年度からできる限り多くの職員を園外の研修に参加したりするとともに、参考資料の購入や紹介などにより職員の自己研鑽を奨励します。

苦情や要望等には、速やかかつ懇切丁寧に対応することと、送迎時などにも保護者の皆様と少しでもコミュニケーションを図れるように努めてまいります。